

日本—朝鮮・西欧・台湾鄭氏往復外交文書表 —16世紀末～19世紀初頭における—

古 川 祐 貴
岡 本 方 冬 真子
松 方 冬 子

本表は、いわゆる近世日本の対外関係の根幹をなすと思われる「国書」¹について、一覧できるデータを提供するために作成した。スペイン領フィリピンを除く東南アジア方面に向けたものについては、すでに藤田励夫により一覧表が作成されており²、また、日琉関係については黒嶋敏らのグループにより国書を含む諸往復文書の一覧が作成されているので³、対象外とした。結果として、対朝鮮、対ヨーロッパ勢力との往復文書、及び台湾鄭氏からの文書を収録している。

「近世」「日本」をそれぞれどう定義するかについては議論の余地があるが、「日本」側の主体は豊臣政権と徳川政権を中心とし、必要と判断する限りにおいて老中・大名など宛て（または発信）のものを含めた。相手方については、相手の国王など中央政府のみならず、スペイン領フィリピン総督、オランダ東インド会社東インド総督なども含めた。何を以て「国書」とするかについては議論が尽きないと思える。ここでは、完全な定義を与えることはあきらめ、むしろ、そのような議論を呼び起こすことを目的としている。

終期を、マシュー・C・ペリーがアメリカ合衆国大統領ミラード・フィルモアの「国書」を携行して現れるまでと設定するならば、18世紀末～19世紀初めのロシアからの国書（アダム・ラクスマン、ニコライ・レザノフが携行したもの）も入れるべきであるが、力が及ばなかった。朝鮮通信使に関しては、今まで正使・副使の名や一行の人数などを記した一覧表が多く作られてきたが、不思議なことに「国書」の一覧表は見当たらなかったと思う。

交わされた「国書」は、相手によって、統一的な基準を設定できないほどの量と質における差がある。また、史料としての性格や研究史上の扱われ方も異なる。そのため、表のカランには統一的な項目を立てることができず、敢えて独立した3つの表とした。

表1（対朝鮮往復「国書」）は古川祐貴が担当した。対象とした時期は、1589年（天正17年）から1811年（文化8年）までである。豊臣秀吉政権下の対馬宗氏による偽日本国王使の派遣（＝

¹ 我々の「国書」理解については、松方冬子編『国書がむすぶ外交』（東京大学出版会、2019年）を参照されたい。

² 藤田励夫「安南日越外交文書集成」『東風西声』9、2013年。同「続安南日越外交文書集成」『東風西声』10、2014年。同「江戸時代初期の東南アジア諸国との外交文書料紙について」湯山賢一編『古文書料紙論叢』勉誠出版、2017年。

³ 未刊。黒嶋敏氏のご教示による。

朝鮮通信使の来日要請)を上限とし、江戸時代最後の通信使となった対馬易地聘礼を下限とした。通信使の来聘計画自体は幕末まで存在するが、実際に書契(国書)・別幅(進物目録)が授受されたわけではなかったため、表1から除外した。ちなみに書契とは、日朝間を往来した私的な漢文書簡の流れを引く公的な外交文書のことであり⁴、特に元首レヴェルで交換される書契のことを国書と呼ぶ。国書・別幅に用いられた言語は全て漢文である。

また、対馬宗家の御家騒動である柳川一件(1635年)以前の国書・別幅(No. 1~28)には、偽造・改竄されたものも含まれる。偽造とは差出名義人の与り知らぬところで捏造する行為であり、本物の存在を前提としつつ都合よく作り変える改竄とは異なる。対馬では、①国書の偽造と偽日本国王使の派遣、②朝鮮通信使(回答兼刷還使)が持参する回答国書の改竄、③日本側で作成される回答国書の改竄、が繰り返し行われた。しかし、第3回朝鮮通信使(回答兼刷還使)の際は、明の国際的権威の失墜を背景として、朝鮮から先に国書がもたらされたことから⁵、対馬で偽日本国王使を仕立てる必要がなかったと見られる。

表2(対スペイン・高山国・ポルトガル勢力)は岡本真が担当した。同表には、豊臣秀吉へ送られた1588年のインド副王文書から、1624年に到来したルソン総督使節が携行したと考えられる文書(ただし文面は不明)までを収録した。全110件中、85通はスペイン関係、24通はポルトガル関係で、残りの1通(No. 14)は、高山国宛ての文書である。

「高山国」は、現在の台湾にあると考えられた国であるが、当時の台湾島には「国」というほどのまとまった政体が存在しなかったため、実際に受け取られることはなかったと考えられる。地理的な面から見ると、表3に収録した鄭氏と同一の表に掲載するべきかもしれない。だが、先行研究に明らかのように、「高山国」宛の文書は、ほぼ同時期に発給された小琉球(ルソン)宛の文書(No. 13)と密接な関係にあった⁶。そのため、本文書については表2に収録することとした。なお、台湾を拠点とした鄭氏は、後継となる現在の国民国家を必ずしも持たないため、ふつう「国」として扱われないかもしれない。だが「近世」の対外関係を考える際には不可欠だと考え、別に表3に含めた。

この表2に収録した文書のうち、No. 1、13、14、47、48、96は原本が存するが、それ以外はすべて何らかの形で写されたものである。日本から送られた文書の多くは基本的に漢文であったが、17世紀前半には、仮名交じり文や候文といった、日本独特の文体(表2では和文と表記)のものも存した(No. 21など)。また、現在、原本や原語写本が確認されておらず、受け取った側などで任意の原語に翻訳された、訳写本のみ伝わっているものもある(No. 3など)⁷。

一方、スペイン・ポルトガル語圏からの文書は、主としてそれぞれの母語で記されていた。ただし、ルソンからの文書については、1604年に漢文とスペイン語文の2通が送られており(No. 29)、以後も漢文書翰が送られてきたようである(No. 56~59など)。これは、(慶長5年)9月5日付寺沢正成文書(No. 20)にみられるような、漢文文書の送付を望む日本側の姿勢にルソン側

⁴ 米谷均「文書様式論から見た一六世紀の日朝往復書契」『九州史学』132、2002年。

⁵ 木村拓「一七世紀前半朝鮮の対日本外交の変容——「為政以德」印の性格変化をめぐって——」『史学雑誌』116-12、2007年。

⁶ 岩生成一「文禄二年(一五九三)呂宋長官あて豊臣秀吉の書翰について」『古文書研究』25、1986年。

⁷ 訳写本のなかには、訳者が意図的に情報操作を加えたものもある点には注意が必要である(清水有子「豊臣政権のルソン外交」『近世日本とルソン——「鎖国」形成史再考——』東京堂出版、2012年)。

が応じたためかもしれない。また、ゴアやマカオからも、漢文文書が送られてきたと見られる事例がある (No. 62~65など)。

なお、前述の通り、表2は1624年を採録の下限としたが、これは同年に日本がスペイン側と断交したためである。以後来日したものの受け入れを拒絶された使節が、文書を持参した可能性は少なくないが、現時点では把握しきれておらず、採録しなかった。その他、調査の行き届かなかった所も含め、今後の増補を期したい。

表3 (対オランダ・イングランド・フランス・鄭氏、ただし17世紀に限る。) は、松方冬子が担当した。これらは、オランダを除きどれも徳川政権が発足以降に関係を持った期間が短い。またイングランド・フランスについては東シナ海域に拠点を持たず、日本との関係が細かったため、また鄭氏については政権としての安定性を欠いたため、「国書」についてもあやふやなところが多い。まず、原本で、実際に受領されたものはひとつも残存していない。No. 19とNo. 20は原本であるが、手交されなかったため、オランダ側に残った。それ以外については、周辺史料から復元的に理解するしかない。

オランダ・イングランド・フランスについては「国書」が書かれた言語も、さまざまである。しかも、送り手側で適切な言語で書けないため、できる限りの3カ国語で送ってきたり、あるいはオランダ東インド総督のように (おそらく見つかった書き手の能力によるのであろう) 外交文書としては異例の仮名書き和文で送ってきたりと、文化的な距離の遠さからくるコミュニケーションの不安定さを如実に物語る。

No. 16は担当者の力量不足から書籍に収載されたものを用いており、原文の所蔵は未確認である。1675年にデンマーク船来日の計画があったが、国書を携行したのかどうか、未確認である。石原道博によれば、1660年に鄭成功からの書翰があったようである⁸が、詳細がわからず、収録をあきらめた。また、鄭成功の子鄭経から長崎奉行に預け銀の返却を依頼した書翰がある⁹が、年次がはっきりせず採録しなかった。

オランダ東インド会社からは、1752年と1779年に徳川将軍に宛てて東インド総督の書翰が送られたか、少なくとも書かれた形跡がある。また、1844年にはオランダ国王からの有名な親書と老中からの返書が送られた。今後の課題としたい。

収載内容については、できる限り意を払ったが、なお目配りの利かなかった部分がありえ、漏れがあるかもしれない。お気づきの際には、ぜひ情報をお寄せいただきたい。先学諸兄姉のご批判を乞う。

〔付記〕

本研究は、JSPS科研費JP15H03236、JP16K16902、JP18K12503の助成を受けたものである。また一部、東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点における2018年度一般共同研究「対馬宗家文書 (江戸藩邸由来分) の基礎的研究」の成果を含む。

⁸ 石原道博『明末清初日本乞師の研究』(富山房、1945年) 67頁。

⁹ たとえば、林春勝、林信篤編、浦廉一解説『華夷変態』上 (東洋文庫、1958年) 46~51頁。

表 1

| No | 西暦年 | 文書上の年月日 | 使節名(正使名) | 文書上の差出名義(印章) | 文書上の宛先 | 文書形式 |
|----|------|---------------|-----------------------------|-----------------------|--------|------|
| 1 | 1589 | 不明*1 | 偽日本国王使(景轍玄蘇) | 不明 | [朝鮮國王] | 国書 |
| 2 | 1590 | [萬曆十八年三月日] | 天正度朝鮮通信使(黄允吉) | [朝鮮國王李暎(「為政以德」)] | [日本國王] | 国書 |
| 3 | 1590 | [—*2] | 天正度朝鮮通信使(黄允吉) | [「為政以德」] | [—] | 別幅 |
| 4 | 1590 | 萬曆十八年三月日 | 天正度朝鮮通信使(黄允吉) | 朝鮮國王李暎(偽造「為政以德」) | 日本國王 | 国書 |
| 5 | 1590 | — | 天正度朝鮮通信使(黄允吉) | (偽造「為政以德」) | — | 別幅 |
| 6 | 1590 | 天正十八年仲冬 | 天正度朝鮮通信使(黄允吉) | 日本國關白秀吉(「豊臣」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 7 | 1606 | [萬曆三十四年■*3月日] | 偽日本国王使(井手智正) | 日本國王源家康(偽造「日本國王之印」)*6 | 朝鮮國王 | 国書 |
| 8 | 1607 | 萬曆参拾伍年正月日 | 慶長度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使*5(呂祐吉) | 朝鮮國王李暎(「為政以德」) | 日本國王 | 国書 |
| 9 | 1607 | — | 慶長度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(呂祐吉) | (「為政以德」) | — | 別幅 |
| 10 | 1607 | 萬曆三十五年正月日 | 慶長度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(呂祐吉) | 朝鮮國王李暎(偽造「為政以德」) | 日本國王 | 国書 |
| 11 | 1607 | — | 慶長度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(呂祐吉) | (偽造「為政以德」) | — | 別幅 |
| 12 | 1607 | 竜集丁未夏五月日 | 慶長度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(呂祐吉) | 日本國源秀忠(「源秀忠」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 13 | 1609 | [萬曆三十七年■月日] | 偽日本国王使(景轍玄蘇) | [日本國王源秀忠(偽造「源秀忠」)] | [朝鮮國王] | 国書 |
| 14 | 1609 | 萬曆参拾陸年伍月日 | 偽日本国王使(景轍玄蘇) | 朝鮮國王李暎(「為政以德」) | 日本國王 | 国書 |
| 15 | 1617 | [萬曆四十五年■月日] | 偽日本国王使(井手智正) | [日本國王源秀忠(偽造「源秀忠」)] | [朝鮮國王] | 国書 |
| 16 | 1617 | [萬曆四十五年五月日] | 元和度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(吳允謙) | [朝鮮國王李暎(「為政以德」)] | [日本國王] | 国書 |
| 17 | 1617 | [—]*4 | 元和度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(吳允謙) | [—] | [—] | 別幅 |
| 18 | 1617 | 萬曆四十五年五月日 | 元和度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(吳允謙) | 朝鮮國王李暎(偽造「為政以德」) | 日本國王 | 国書 |
| 19 | 1617 | — | 元和度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(吳允謙) | —*7 | — | 別幅 |
| 20 | 1617 | 龍集丁巳秋九月日 | 元和度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(吳允謙) | 日本國王源秀忠(「源秀忠」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 21 | 1617 | [萬曆四十五年■月日] | 元和度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(吳允謙) | [日本國王源秀忠(偽造「源秀忠」)] | [朝鮮國王] | 国書 |
| 22 | 1621 | [天啓元年■月日] | 偽日本国王使(規伯玄方) | [日本國王源秀忠(偽造「源秀忠」)] | [朝鮮國王] | 国書 |
| 23 | 1624 | [天啓肆年捌月日] | 寛永元年度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(鄭昱) | [朝鮮國王李恮(「施命之寶」)] | [日本國王] | 国書 |
| 24 | 1624 | [—] | 寛永元年度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(鄭昱) | [「施命之寶」] | [—] | 別幅 |
| 25 | 1624 | 天啓肆年捌月日 | 寛永元年度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(鄭昱) | 朝鮮國王李恮(偽造「■命之寶」)*8 | 日本國王 | 国書 |
| 26 | 1624 | — | 寛永元年度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(鄭昱) | (偽造「■命之寶」) | — | 別幅 |
| 27 | 1624 | 龍集甲子冬十二月日 | 寛永元年度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(鄭昱) | 日本國王源家光(「源忠徳」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 28 | 1624 | [天啓四年■月日] | 寛永元年度朝鮮通信使 = 回答兼刷還使(鄭昱) | [日本國王源家光(偽造「源忠徳」)] | [朝鮮國王] | 国書 |
| 29 | 1636 | 崇禎九年八月十一日 | 寛永13年度朝鮮通信使(任統) | 朝鮮國王李恮(「為政以德」) | 日本國大君 | 国書 |
| 30 | 1636 | 崇禎九年八月十一日 | 寛永13年度朝鮮通信使(任統) | (「為政以德」) | — | 別幅 |
| 31 | 1636 | 寛永拾三年十二月二十七日 | 寛永13年度朝鮮通信使(任統) | 日本國王源家光(「源忠徳」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 32 | 1636 | 寛永十三年十二月二十七日 | 寛永13年度朝鮮通信使(任統) | — | — | 別幅 |

| 典拠 | 画像・写真 | 翻刻 |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 宮内庁書陵部所蔵「朝鮮国王李暎国書」*14 | [九州国立博物館2015年] 178頁 | 『統善隣国宝記』366～369頁 |
| 宮内庁書陵部所蔵「朝鮮国王李暎別幅」 | [九州国立博物館2015年] 179頁 | 『統善隣国宝記』368～371頁 |
| — | — | 『統善隣国宝記』372～377頁 |
| 『李朝実録 第三十冊』宣祖39年11月丁丑条 | — | [米谷1995年] |
| 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『朝鮮通交大紀』174頁 『通航一覽 第三』83頁 |
| 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『朝鮮通交大紀』174頁 『通航一覽 第三』84頁 |
| 京都大学総合博物館所蔵「朝鮮国王李暎国書」 | 東京大学史料編纂所所蔵「朝鮮国王書翰 万曆三十五年正月日(台紙付写真)」 国史編纂委員会所蔵「朝鮮國王 [○] 日本國王에게 보낸 國書 (1)(古写真)」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f1&images=f1_g2937 [辛・仲尾1996年a] 66頁 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 101頁 [長崎歴史文化博物館2013年] 42頁 [九州国立博物館2015年] 182頁 [下関市立歴史博物館2018年] 16頁 | 『統善隣国宝記』416～419頁 『外蕃通書』10～11頁 『通航一覽 第三』87～88頁 |
| 京都大学総合博物館所蔵「朝鮮国王李暎別幅」 | 国史編纂委員会所蔵「朝鮮國王 [○] 日本國王에게 보낸 國書 別幅 (2)(古写真)」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f1&images=f1_g2496 [辛・仲尾1996年a] 66頁 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 101頁 [長崎歴史文化博物館2013年] 42頁 [九州国立博物館2015年] 183頁 [下関市立歴史博物館2018年] 17頁 | 『統善隣国宝記』418～421頁 『外蕃通書』11頁 『通航一覽 第三』88頁 |
| 『異国日記』136～137頁 | — | 『統善隣国宝記』426～427頁 『外蕃通書』16頁 『通航一覽 第三』88～89頁 |
| — | — | — |
| 近藤守重「外蕃通書」 | — | 『統善隣国宝記』428～429頁 『外蕃通書』16～18頁 |
| 『李朝実録 第三十三冊』光海君9年5月癸巳条 | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 京都大学総合博物館所蔵「朝鮮国王李暎国書」 | 東京大学史料編纂所所蔵「朝鮮国王書翰 万曆四十五年五月(台紙付写真)」 [辛・仲尾1996年a] 67頁 [長崎歴史文化博物館2013年] 43頁 [下関市立歴史博物館2018年] 17頁 | 『朝鮮通交大紀』212頁 『統善隣国宝記』432～437頁 『外蕃通書』18頁 『通航一覽 第三』90～91頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李瑠別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0043578 | 『朝鮮通交大紀』212頁 『統善隣国宝記』436～439頁 『外蕃通書』18頁 『通航一覽 第三』91頁 |
| 『異国日記』35～36・119頁 | — | 『朝鮮通交大紀』212～213頁 『統善隣国宝記』446～449頁 『外蕃通書』21頁 『通航一覽 第三』92頁 |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『朝鮮通交大紀』216頁 『通航一覽 第三』98頁 |
| — | — | — |
| 『異国日記』51～52頁 | — | 『朝鮮通交大紀』216頁 『統善隣国宝記』458～461頁 『外蕃通書』22頁 『通航一覽 第三』98頁 |
| 『異国日記』51～52頁 | — | 『外蕃通書』22頁 『通航一覽 第三』99頁 |
| 『異国日記』53～54頁 | — | 『統善隣国宝記』446～449頁 『外蕃通書』23頁 |
| — | — | — |
| 『異国日記』138頁 | — | 『外蕃通書』23～24頁 『通航一覽 第三』102頁 |
| 『異国日記』138～139頁 | — | 『外蕃通書』24頁 『通航一覽 第三』102頁 |
| 『異国日記』139頁 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『羅山先生文集 第一』140～141頁 『朝鮮通交大紀』243～244頁 『外蕃通書』24頁 『通航一覽 第三』104～105頁 |
| 『異国日記』139頁 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『羅山先生文集 第一』141頁 『朝鮮通交大紀』244頁 『外蕃通書』24頁 『通航一覽 第三』105頁 |

| No | 西暦年 | 文書上の年月日 | 使節名（正使名） | 文書上の差出名義（印章） | 文書上の宛先 | 文書形式 |
|----|------|------------|------------------|-----------------|--------|------|
| 33 | 1643 | 崇禎十六年二月日 | 寛永20年度朝鮮通信使（尹順之） | 朝鮮國王李倧（「為政以德」） | 日本國大君 | 国書 |
| 34 | 1643 | 崇禎十六年二月日 | 寛永20年度朝鮮通信使（尹順之） | 朝鮮國王李倧（「為政以德」） | — | 別幅 |
| 35 | 1643 | 崇禎十六年二月日 | 寛永20年度朝鮮通信使（尹順之） | 朝鮮國王（「為政以德」） | — | 別幅 |
| 36 | 1643 | 寛永二十年八月三日 | 寛永20年度朝鮮通信使（尹順之） | 日本國源家光（「源忠徳」） | 朝鮮國王 | 国書 |
| 37 | 1643 | 寛永二十年八月三日 | 寛永20年度朝鮮通信使（尹順之） | 日本國源家光（「源忠徳」） | — | 別幅 |
| 38 | 1643 | 寛永二十年八月三日 | 寛永20年度朝鮮通信使（尹順之） | 日本國源（「源監國」）*9 | — | 別幅 |
| 39 | 1655 | 乙未年四月日 | 明暦度朝鮮通信使（趙珩） | 朝鮮國王李湊（「為政以德」） | 日本國大君 | 国書 |
| 40 | 1655 | 乙未年四月日 | 明暦度朝鮮通信使（趙珩） | 朝鮮國王李湊（「為政以德」） | — | 別幅 |
| 41 | 1655 | 明暦元年乙未十月日 | 明暦度朝鮮通信使（趙珩） | 日本國源家綱（「源忠直」） | 朝鮮國王 | 国書 |
| 42 | 1655 | 明暦元年乙未十月日 | 明暦度朝鮮通信使（趙珩） | 日本國源家綱（「源忠直」） | — | 別幅 |
| 43 | 1682 | 壬戌年五月日 | 天和度朝鮮通信使（尹趾完） | 朝鮮國王李埈（「為政以德」） | 日本國大君 | 国書 |
| 44 | 1682 | 壬戌年五月日 | 天和度朝鮮通信使（尹趾完） | 朝鮮國王李埈（「為政以德」） | — | 別幅 |
| 45 | 1682 | 壬戌年五月日 | 天和度朝鮮通信使（尹趾完） | （「為政以德」） | — | 別幅 |
| 46 | 1682 | 天和二年壬戌九月日 | 天和度朝鮮通信使（尹趾完） | 日本國源綱吉（「源忠敬」） | 朝鮮國王 | 国書 |
| 47 | 1682 | 天和二年壬戌九月日 | 天和度朝鮮通信使（尹趾完） | 日本國源綱吉（「源忠敬」） | — | 別幅 |
| 48 | 1682 | 天和二年壬戌九月日 | 天和度朝鮮通信使（尹趾完） | （「源綱熙」）*10 | — | 別幅 |
| 49 | 1711 | 辛卯年五月日 | 正徳度朝鮮通信使（趙泰徳） | 朝鮮國王李埈（「為政以德」） | 日本國王 | 国書 |
| 50 | 1711 | 辛卯年五月日 | 正徳度朝鮮通信使（趙泰徳） | 朝鮮國王李埈（「為政以德」） | — | 別幅 |
| 51 | 1711 | 正徳元年辛卯十一月日 | 正徳度朝鮮通信使（趙泰徳） | 日本國王源家宣（「文命之寶」） | 朝鮮國王 | 国書 |
| 52 | 1711 | 正徳元年辛卯十一月日 | 正徳度朝鮮通信使（趙泰徳） | 日本國王源家宣（「文命之寶」） | — | 別幅 |
| 53 | 1719 | 己亥年四月日 | 享保度朝鮮通信使（洪致中） | 朝鮮國王李埈（「為政以德」） | 日本國大君 | 国書 |
| 54 | 1719 | 己亥年四月日 | 享保度朝鮮通信使（洪致中） | 朝鮮國王李埈（「為政以德」） | — | 別幅 |
| 55 | 1719 | 享保四年己亥十月日 | 享保度朝鮮通信使（洪致中） | 日本國源吉宗（「源」） | 朝鮮國王 | 国書 |
| 56 | 1719 | 享保四年己亥十月日 | 享保度朝鮮通信使（洪致中） | 日本國源吉宗（「源」） | — | 別幅 |
| 57 | 1747 | 丁卯年十一月日 | 延享度朝鮮通信使（洪啓禧） | 朝鮮國王李吟（「為政以德」） | 日本國大君 | 国書 |

| 典拠 | 画像・写真 | 翻刻 |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李倬国書」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書簡」*15 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/C0064584 [辛・仲尾1996年b] 46頁 [東京国立博物館・東京大学史料編纂所2001年] 132頁 | 『外蕃通書』25頁 『通航一覽 第三』106頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李倬別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書簡」*16 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/C0064584 [辛・仲尾1996年b] 47頁 [東京国立博物館・東京大学史料編纂所2001年] 132頁 | 『外蕃通書』25頁 『通航一覽 第三』106頁 |
| 近藤守重「外蕃通書」 | — | 『外蕃通書』25頁 『通航一覽 第三』106～107頁 |
| 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『羅山先生文集 第一』143頁 『朝鮮通交大紀』249～250頁 『外蕃通書』29頁 『通航一覽 第三』108頁 |
| 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『羅山先生文集 第一』143～144頁 『朝鮮通交大紀』250頁 『外蕃通書』29頁 『通航一覽 第三』108頁 |
| — | — | 『外蕃通書』29頁 『通航一覽 第三』108頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李湜国書」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰のうち李湜書契」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0065382 | 『朝鮮通交大紀』256頁 『外蕃通書』30頁 『通航一覽 第三』109頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李湜別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰のうち李湜書契別幅」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0065384 | 『外蕃通書』30頁 『通航一覽 第三』109～110頁 |
| 『異国日記』156～157頁 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『羅山先生文集 第一』150頁 『朝鮮通交大紀』257頁 『外蕃通書』31頁 『通航一覽 第三』110頁 |
| 『異国日記』156～157頁 松浦允任「朝鮮通交大紀」 | — | 『羅山先生文集 第一』150～151頁 『朝鮮通交大紀』257頁 『外蕃通書』31頁 『通航一覽 第三』110～111頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「朝鮮国王李焜国書」 | 東京大学史料編纂所蔵「朝鮮国王書翰 康熙二十一年 天和二年（台紙付写真）」 国史編纂委員会所蔵「朝鮮国王李焜国書（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f&images=f_s0751 [辛・仲尾1995年] 40頁 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 102頁 [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 104頁 | 『朝鮮通交大紀』265～266頁 『外蕃通書』31～32頁 『通航一覽 第三』112頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李焜別幅」 | 国史編纂委員会所蔵「朝鮮国王李焜国書 別幅（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f&images=f_s0752 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075028 | 『外蕃通書』31～32頁 『通航一覽 第三』112～113頁 |
| — | — | 『外蕃通書』31～32頁 『通航一覽 第三』113頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「徳川綱吉国書控」 | 東京大学史料編纂所蔵「徳川綱吉朝鮮国王ニ贈ル書 天和二年九月日（台紙付写真）」 国史編纂委員会所蔵「日本將軍 源綱吉国書（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f&images=f_s0745 [辛・仲尾1995年] 41頁 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 103頁 [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 105頁 | 『朝鮮通交大紀』266頁 『外蕃通書』32～33頁 『通航一覽 第三』115頁 [大塚1987年] |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「徳川綱吉別幅控」 | 国史編纂委員会所蔵「日本將軍源綱吉復書別幅（2）（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f&images=f_s0747 [辛・仲尾1995年] 41頁 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 103頁 [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 105頁 | 『外蕃通書』32～33頁 『通航一覽 第三』115頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「徳川徳松別幅控」 | 国史編纂委員会所蔵「日本將軍 源綱吉復書別幅（1）（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=f&images=f_s0746 | 『外蕃通書』33頁 『通航一覽 第三』115頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李焜国書」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075029 | 『朝鮮通交大紀』290頁 『外蕃通書』33頁 『通航一覽 第三』118頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「朝鮮国王李焜別幅」 | [辛・仲尾1995年] 40頁 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 102頁 [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 104頁 | 『朝鮮通交大紀』290頁 『外蕃通書』33頁 『通航一覽 第三』118頁 |
| 九州国立博物館所蔵「徳川家宣国書写」 | 九州国立博物館所蔵「徳川家宣国書写」 http://collection.kyuhaku.jp/gallery/14722.html [九州国立博物館2017年] 80頁*17 | 『朝鮮通交大紀』290頁 『外蕃通書』34頁 『通航一覽 第三』145～146頁 |
| 九州国立博物館所蔵「徳川家宣別幅写」 | [九州国立博物館2017年] 80頁*18 | 『朝鮮通交大紀』290頁 『外蕃通書』34頁 『通航一覽 第三』145頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李焜国書」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075031 | 『外蕃通書』34頁 『通航一覽 第三』174頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李焜別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075033 | 『外蕃通書』34～35頁 『通航一覽 第三』174～175頁 |
| 東京国立博物館所蔵「徳川吉宗国書控」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書簡（徳川吉宗返翰）」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/C0059147 | 『外蕃通書』35頁 『通航一覽 第三』180～181頁 |
| 東京国立博物館所蔵「徳川吉宗別幅控」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書簡（徳川吉宗返翰）」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/C0059146 | 『外蕃通書』35頁 『通航一覽 第三』181頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李焜国書」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075034 | 『外蕃通書』35頁 『通航一覽 第三』184頁 |

| No | 西暦年 | 文書上の年月日 | 使節名(正使名) | 文書上の差出名義(印章) | 文書上の宛先 | 文書形式 |
|----|------|------------|---------------|-----------------|--------|------|
| 58 | 1747 | 丁卯年十一月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | 朝鮮國王李吟(「為政以德」) | — | 別幅 |
| 59 | 1747 | 丁卯年十一月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | 朝鮮國王李吟(「為政以德」) | — | 別幅 |
| 60 | 1747 | 丁卯年十一月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | (「為政以德」) | — | 別幅 |
| 61 | 1748 | 延享五年戊辰六月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | 日本國源家重(「源表正」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 62 | 1748 | 延享五年戊辰六月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | 日本國源家重(「源表正」) | — | 別幅 |
| 63 | 1748 | 延享五年戊辰六月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | 日本國源吉宗(「不明」)*11 | — | 別幅 |
| 64 | 1748 | 延享五年戊辰六月日 | 延享度朝鮮通信使(洪啓禧) | (「不明」)*12 | — | 別幅 |
| 65 | 1763 | 癸未年八月日 | 宝暦度朝鮮通信使(趙曦) | 朝鮮國王李吟(「為政以德」) | 日本國大君 | 国書 |
| 66 | 1763 | 癸未年八月日 | 宝暦度朝鮮通信使(趙曦) | 朝鮮國王李吟(「為政以德」) | — | 別幅 |
| 67 | 1764 | 宝暦十四年甲申三月日 | 宝暦度朝鮮通信使(趙曦) | 日本國源家治(「源寛祐」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 68 | 1764 | 宝暦十四年甲申三月日 | 宝暦度朝鮮通信使(趙曦) | 日本國源家治(「源寛祐」) | — | 別幅 |
| 69 | 1811 | 辛未年二月日 | 文化度朝鮮通信使(金履喬) | 朝鮮國王李珣(「為政以德」) | 日本國大君 | 国書 |
| 70 | 1811 | 辛未年二月日 | 文化度朝鮮通信使(金履喬) | 朝鮮國王李珣(「為政以德」) | — | 別幅 |
| 71 | 1811 | 辛未年二月日 | 文化度朝鮮通信使(金履喬) | 朝鮮國王(「為政以德」) | — | 別幅 |
| 72 | 1811 | 文化八年辛未五月日 | 文化度朝鮮通信使(金履喬) | 日本國源家齋(「克綏厥猷」) | 朝鮮國王 | 国書 |
| 73 | 1811 | 文化八年辛未五月日 | 文化度朝鮮通信使(金履喬) | 日本國源家齋(「克綏厥猷」) | — | 別幅 |
| 74 | 1811 | 文化八年辛未五月日 | 文化度朝鮮通信使(金履喬) | (「恭敬温文」)*13 | — | 別幅 |

*1 不明は全くの不明であることを表す。

*2 —(ダッシュ)は、記載のないこと、あるいは存在が確認されていないことを表す。

*3 ■は一部が不明であることを表す。

*4 []は作成者が推測して入れた部分である。

*5 日本側国書への回答と、文禄・慶長の役時の被虜人の刷還を目的に、1607年・1617年・1624年の3度に亘って派遣された使節。厳密には朝鮮通信使ではないが、回答兼刷還使も含めて江戸時代12回の通信使と見做す場合が多い。

*6 日本側国書・別幅は韓国で1点も見つかっていないことから、本表では日本に残る控や写を参照したが、そのほとんどに印章が捺されていないのが現状である。そのため印文については、[古川2019年]の成果に拠った。

*7 このときの朝鮮国王別幅には印章が捺されていなかったことが確認されている[田代2005年・2007年]。

*8 真書(No.23・24)には「施命之寶」印が捺されていたが、改竄された国書・別幅(No.25・26)には「施命之寶」印ではない印章が捺された。それは対馬宗氏が江戸幕府に「施命之寶」印の捺された真書を届けることができなかったためで、「施」字を変化させ、印文の意味が通じないようにしたという[木村2007年]。「施」字を変化させた、存在しない漢字である可能性が高いことから、本表では偽造「■命之寶」とした。

*9 徳川竹千代(当時3歳、後の家綱)のこと。元服前のため諱がない。初めてもたらされた若君(将軍世子)宛て朝鮮国王別幅(No.35)に対する別幅である。

*10 徳川徳松(当時4歳、1683年夭折)のこと。前回(No.38)とも異なり差出名義すら存在しない。これは朝鮮国王別幅(No.45)に倣ったためである。

*11 徳川吉宗(大御所)が用いた印章は不明だが、将軍在職時に使用した「源」印の可能性もある。使節の大御所への表敬は、家康・秀忠時代から行われていたものの、太夫君(大御所)宛て朝鮮国王別幅がもたらされたのはこのとき(No.59)が初めてだった。

*12 徳川家治(大納言)のこと。幕府は朝鮮国王別幅(No.60)に倣って、捺印のみの別幅を作成したが、通信使から不通と非難され、改撰を要求される。最終的には対馬宗家の取り成しによって捺印のみの若君別幅を通信使は受領する。

*13 徳川家康(大納言)のこと。一般的に若君別幅は朝鮮国王別幅に倣うかたちで作成される。しかし当該別幅は、朝鮮国王別幅(No.71)と差出名義が一致していない。以前(No.64作成時)のように非難された形跡もなく、このあたりの事情については不明である。

*14 典拠カラムに記載された史料名は、必ずしも所蔵機関のものとは一致しない。

*15 展開した文書の画像はなく、閉じた状態のものである。

*16 *15に同じ。

*17 原本でなく写である。

*18 *17に同じ。

| 典拠 | 画像・写真 | 翻刻 |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李昫別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075036 | 『外蕃通書』35頁 『通航一覧 第三』184～185頁 |
| 近藤守重「外蕃通書」 | — | 『外蕃通書』36頁 『通航一覧 第三』185頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮国王李昫別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075037 | 『外蕃通書』36頁 『通航一覧 第三』185頁 |
| 近藤守重「外蕃通書」 | — | 『外蕃通書』36頁 『通航一覧 第三』189頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「徳川家重別幅控」 | 国史編纂委員会所蔵「日本將軍 源家重復書別幅（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=fl&images=fl_s0748 | 『外蕃通書』36頁 『通航一覧 第三』189頁 |
| 近藤守重「外蕃通書」 | — | 『外蕃通書』36～37頁 『通航一覧 第三』189頁 |
| 近藤守重「外蕃通書」 東京大学史料編纂所所蔵「小杉美二郎氏所蔵文書（影写本）」 | — | 『外蕃通書』37頁 『通航一覧 第三』189頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮國王李昫國書」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075038 | 『外蕃通書』37頁 『通航一覧 第三』192頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮國王李昫別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075040 | 『外蕃通書』37頁 『通航一覧 第三』192頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「徳川家治國書」 | 東京大学史料編纂所所蔵「徳川家治朝鮮国王二贈ル書 宝曆十四年三月日（台紙付写真）」 国史編纂委員会所蔵「日本將軍 源家治復書（古写真）」 http://library.history.go.kr/dhrs/dhrsXIFViewer.jsp?system=dlib&id=SJ000009551 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 104頁 [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 106頁 | 『外蕃通書』37～38頁 『通航一覧 第三』193～194頁 |
| 藤井齊成会有鄰館所蔵「徳川家治別幅控」 | 国史編纂委員会所蔵「日本將軍 源家治復書別幅（古写真）」 http://db.history.go.kr/item/imageViewerFileName.do?itemId=fl&images=fl_s0750 [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 104頁 [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 106頁 | 『外蕃通書』38頁 『通航一覧 第三』194頁 |
| 外務省外交史料館所蔵「朝鮮国王李昫國書」 | [辛・仲尾1993年] 15頁 [李1997年] 414頁 [下関市立歴史博物館2018年] 18頁 | 『通航一覧 第三』195頁 |
| 外務省外交史料館所蔵「朝鮮国王李昫別幅」 | [辛・仲尾1993年] 15頁 [李1997年] 414頁 [下関市立歴史博物館2018年] 18頁 | 『通航一覧 第三』195～196頁 |
| 東京国立博物館所蔵「朝鮮國王李昫別幅」 | 東京国立博物館所蔵「徳川幕府朝鮮国王往復書翰」 http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/show/E0075041 | 『通航一覧 第三』196頁 |
| 外務省外交史料館所蔵「徳川家齊國書」 | [辛・仲尾1993年] 14頁 [李1997年] 414頁 [眞壁2007年] 189頁 [下関市立歴史博物館2018年] 19頁 | 『通航一覧 第三』202頁 |
| 外務省外交史料館所蔵「徳川家齊別幅控」 | [辛・仲尾1993年] 14頁 [下関市立歴史博物館2018年] 19頁 | 『通航一覧 第三』203頁 |
| 慶徳義塾図書館所蔵「文化信使記録 江戸留書第六冊」 | — | 『通航一覧 第三』203頁 |

【参考文献】

- [大塚1987年] 大塚英明「藤井齊成会所蔵朝鮮通信使関係資料について」『文化財報』58、1987年。
- [米谷1995年] 米谷均「近世初期日朝関係における外交文書の偽造と改竄」『早稲田大学大学院文学研究科紀要 第4分冊』41、1995年。
- [田代2005年] 田代和生「朝鮮国書・書契の原本データ」『日韓歴史共同研究報告書（第2分科篇）』日韓歴史共同研究委員会、2005年。
- [田代2007年] 田代和生「朝鮮国書原本の所在と科学分析」『朝鮮学報』202、2007年。
- [古川2019年] 古川祐貴「徳川將軍の外交印」松方冬子編『国書がむすぶ外交』東京大学出版会、2019年。
- [辛・仲尾1993年] 辛基秀・仲尾宏編『善隣と友好の記録 大系朝鮮通信使 第八巻 辛未・文化度』明石書店、1993年。
- [辛・仲尾1995年] 辛基秀・仲尾宏編『善隣と友好の記録 大系朝鮮通信使 第三巻 乙未・明暦度／壬戌・天和度』明石書店、1995年。
- [辛・仲尾1996年 a] 辛基秀・仲尾宏編『善隣と友好の記録 大系朝鮮通信使 第一巻 丁未・慶長度／丁巳・元和度／甲子・寛永度』明石書店、1996年。
- [辛・仲尾1996年 b] 辛基秀・仲尾宏編『善隣と友好の記録 大系朝鮮通信使 第二巻 丙子・寛永度／癸未・寛永度』明石書店、1996年。
- [李1997年] 李元植『朝鮮通信使の研究』思文閣出版、1997年。
- [眞壁2007年] 眞壁仁「徳川後期の学問と政治——昌平学問所儒者と幕末外交変容——」名古屋大学出版会、2007年。
- [京都文化博物館・京都新聞社2001年] 「21世紀記念特別展 ころの交流 朝鮮通信使——江戸時代から21世紀へのメッセージ——」京都文化博物館・京都新聞社、2001年。
- [東京国立博物館・東京大学史料編纂所2001年] 「時を超えて語るもの 史料と美術の名宝」東京国立博物館・東京大学史料編纂所、2001年。
- [朝鮮通信使文化事業推進委員会2004年] 「마음의교류 朝鮮通信使——에도（江戸）시대로부터 21세기에 보내는 메시지——」朝鮮通信使文化事業推進委員会、2004年。
- [長崎歴史文化博物館2013年] 「重要文化財指定記念特別展 対馬藩と朝鮮通信使——12万点の宗家文書が語る歴史の真実——」長崎歴史文化博物館、2013年。
- [九州国立博物館2015年] 「開館10周年記念特別展 戦国大名——九州の群雄とアジアの波瀾——」九州国立博物館、2015年。
- [九州国立博物館2017年] 「文化交流展 特別展示 対馬——遺宝にみる交流の足跡——」九州国立博物館、2017年。
- [下関市立歴史博物館2018年] 「ユネスコ「世界の記憶」登録記念 特別展 朝鮮通信使——日韓の平和構築と文化交流の歴史——」下関市立歴史博物館、2018年。
- 『外蕃通書』近藤守重著・国書刊行会編『近藤正齋全集 第一』国書刊行会、1905年。
- 『羅山先生文集 第一』京都史蹟会編『羅山先生文集 卷一』平安考古学会、1918年。
- 『李朝実録 第三十冊』『李朝実録 第三十冊 宣祖実録 第四』学習院大学東洋文化研究所、1961年。
- 『李朝実録 第三十三冊』『李朝実録 第三十三冊 光海君日記 第二』学習院大学東洋文化研究所、1962年。
- 『通航一覧 第三』『通航一覧 第三』国書刊行会、1913年。
- 『朝鮮通交大紀』松浦允任撰・田中健夫・田代和生校訂『朝鮮通交大紀』名著出版、1978年。
- 『異国日記』以心崇伝著・異国日記刊行会編『影印本 異国日記 金地院崇伝外交書集成』東京美術、1989年。
- 『続善隣國宝記』瑞溪周鳳撰・田中健夫編『善隣國宝記 新訂続善隣國宝記』集英社、1995年。

表2

| No | 西暦年 | 文書上の年月日*1 | 使節 | 差出人 | 宛先 | 原文 |
|----|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------|
| 1 | 1588 | mes de Abril do anno de 1588 (1588年4月)*4 | Alessandro Valignano | Viso Rey da India (インド副王、Duarte de Menezes) | Quambacudono(関白殿、豊臣秀吉) | ポルトガル語 |
| 2 | 1591 | 天正拾九年七月廿五日*5 | Alessandro Valignano | 関白(豊臣秀吉) | 印地阿毘曾童(インド副王) | 漢文 |
| 3 | 1591 | El año 19 de Tienchen el nono mes a los onze días (天正19年9月11日) | 原田孫七郎 | Camarero Tian Kit (侍従Tian Kit)*6 | Siaulyuquiu (小琉球)*7 | 漢文 |
| 4 | 1591 | 天正十九年秋季十五日*8 | 原田孫七郎 | 日本國関白(豊臣秀吉) | 小琉球 | 漢文 |
| 5 | 1591 | El año decinuebe de tienchen el nueve mes (天正19年9月) | 原田孫七郎 | Un grande general del rey de Japón (日本国王の大將) | (小琉球) | 漢文 |
| 6 | 1592 | Año veynte de Tienchen el mes primero dia festi [vo] (天正20年1月祝日) | 原田孫七郎 | Rey de Firando (平戸国王、松浦鎮信) | Gobernador de Luzón (フィリピン総督、Gómez Pérez Dasmariñas) | 漢文 |
| 7 | 1592 | 9 de junio de 1592 años del nacimiento de nuestro Señor e Salvador Jesu Christo (我等の主にして救世主イエス・キリスト生誕の1592年6月9日)*10 | Juan Cobo | (Gómez Pérez Dasmariñas) | El rey de Firando (平戸国王、松浦鎮信) | スペイン語 |
| 8 | 1592 | 11 de junio de 1592 años (1592年6月11日) | Juan Cobo | Gómez Pérez Dasmariñas (フィリピン総督) | Quambac (関白、豊臣秀吉) | スペイン語 |
| 9 | 1592 | XI de junio del año del nacimiento de nuestro [Señor] e SavaIdor [Sic] Jesu Christo, de mill y quinientos y noventa y dos años (我等の主にして救世主イエス・キリスト生誕の1592年6月11日) | Juan Cobo | (Gómez Pérez Dasmariñas) | Camarero del rey de Japón (日本国王の侍従)*6 | スペイン語 |
| 10 | 1592 | XI de junio de 1592 años (1592年6月11日) | Juan Cobo | (Gómez Pérez Dasmariñas) | El capitan general de Japón (日本の総司令官) | スペイン語 |
| 11 | 1592 | 天正歳會壬辰月日*11 | 原田喜右衛門 | 大日本國前関白太政大臣(豊臣秀吉) | 小琉球 | 漢文 |
| 12 | 1593 | 20 de mayo de 1593 (1593年5月20日)*13 | Pedro Baptista | Gómez Pérez Dasmariñas | (豊臣秀吉) | スペイン語 |
| 13 | 1593 | 文祿二年龍集癸巳十一月二日 | 原田孫七郎 | 日本國前関白(豊臣秀吉) | 小琉球 | 漢文 |
| 14 | 1593 | 文祿二年龍集癸巳十一月初五日 | 原田喜右衛門 | 日本國前関白(豊臣秀吉) | 高山国 | 漢文 |
| 15 | 1594 | *14 | Augustin Rodriguez | (Luis Pérez Dasmariñas) | (豊臣秀吉) | スペイン語 |
| 16 | 1596 | 15 de la luna decima ((慶長元年)10月15日) | | Catto Canzuyeno camy (加藤主計頭(清正)) | Governador de los Luzones (フィリピン総督、Francisco de Tello de Guzmán) | 漢文 |
| 17 | 1597 | 26 de mayo de 97 (1597年5月26日)*15 | Luis Navarrete Fajardo | (Francisco de Tello de Guzmán) | (豊臣秀吉) | スペイン語 |
| 18 | 1597 | 慶長貳年龍集丁酉秋七月廿七日 | Luis Navarrete Fajardo | 日本國大関(豊臣秀吉) | 呂宋國主(Francisco de Tello de Guzmán) | 漢文 |
| 19 | 1599 | | | (Francisco de Tello de Guzmán) | (日本) | スペイン語 |
| 20 | 1599 | ((慶長5年)9月5日) | 伊丹宗味 | Terazava Ximanocami Masanari (寺沢志摩守正成) | Governador de los Luzones (Francisco de Tello de Guzmán) | 漢文 |
| 21 | 1599 | | Jerónimo de Jesús | (徳川家康) | (ルソン) | 和文 |
| 22 | 1601 | 慶長六年辛丑冬十月 | (フランシスコ会士) | 日本國源家康 | 呂宋國郎巴難至昔高提腰(Francisco de Tello de Guzmán) | 漢文 |
| 23 | 1601 | ((慶長)6年10月6日) | (フランシスコ会士) | (寺沢正成) | (Francisco de Tello de Guzmán) | 漢文 |
| 24 | 1602.6.1 | primero de junio de 1602 (1602年6月1日) | (フランシスコ会士) | Pedro de Acuña | Dayfossama(内府様、徳川家康) | スペイン語 |
| 25 | 1602.6.1 | primero de junio de 1602 (1602年6月1日) | (フランシスコ会士) | Pedro de Acuña | Taracava Ximonlo Camil (寺沢志摩守(正成)) | スペイン語 |
| 26 | 1602 | 慶長第七龍集壬寅八月日 | | 日本國源家康 | 呂宋國太守 | 漢文 |

| 原本、原語写本*2 | 訳写本 | 近代以後の翻刻、翻訳(日本語文献)*3 | 近代以後の翻刻、翻訳(他国語文献) | 備考 |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 【原】 妙法院 | | 村上訳注1929: 23-24 (妙法院) | | |
| 【写】 「富岡文書」 | 【葡】 ARSI (Jap. Sin. 51)、Frois, L. "Historia de Japam", Hay, J. "De Rebus Iaponicis, Indicis, et Pervanis Epistolae Recentiores" | 村上訳注1929: 26-29 (「富岡文書」)、松田・川崎訳1977: 147-149 (Frois)、松田監訳1987: 269-271 (Hay) | | |
| | 【西】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | 村上訳注1929: 44-45 (AGI)、バステルス1994: 42-43 | Blair 1903a: 262-263 (AGI)、Pastells 1928a: 242-243 (AGI) | |
| 【写】 「朝鮮征伐記」 | 【西】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12)、ARSI (Jap. Sin. 27)、BNCR (GES. 1246-5)*9 | 村上訳注1929: 29-33 (「朝鮮征伐記」、AGI、BNCR)、バステルス1994: 37-39 (AGI)、清水2012: 141-143 (「朝鮮征伐記」、AGI) | Blair 1903a: 260-261 (AGI)、Pastells 1928a: 239-240 (AGI) | |
| | 【西】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | 村上訳注1929: 41-43 (AGI)、バステルス1994: 43-44 | Pastells 1928a: 243-244 (AGI) | |
| | 【西】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | 村上訳注1929: 47-49 (AGI)、バステルス1994: 45 | Pastells 1928a: 244-245 (AGI) | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | | 村上訳注1929: 49-51 (AGI)、バステルス1994: 46 | Pastells 1928a: 245 (AGI) | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | 【漢】 「富岡文書」(天理図書館所蔵) | 村上訳注1929: 34-40 (「富岡文書」、AGI)、バステルス1994: 39-42 | Blair 1903a: 263-267 (AGI)、Pastells 1928a: 240-242 (AGI) | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | | 村上訳注1929: 46-47 (AGI)、バステルス1994: 43 | Pastells 1928a: 243 (AGI) | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 18B, R. 2, N. 12) | | 村上訳注1929: 43-44 (AGI)、バステルス1994: 44-45 | Pastells 1928a: 244 (AGI) | |
| 【写】 「南禅旧記」下 | 【西】 AGI (PATRONATO, 25, R. 50, FILIPINAS, 6, R. 7, N. 107)、ARSI (Jap. Sin. 27)、BNCR (GES. 1246-5)*12 | 村上訳注1929: 51-54 (BNCR)、バステルス1994: 54-56、清水2012: 146-150 (BNCR、AGI)、岡本2019 (「南禅旧記」) | Blair 1903b: 46-47 (AGI)、Pastells 1928a: 258-259 (AGI)、Alvarez1940: 303-304 (BNCR) | 文書原本はファン・コボの遺贈とともに失われた。 |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 6, R. 7, N. 107) | | 村上訳注1929: 54-57 (AGI)、バステルス1994: 80-81 | Blair 1903b: 55-57 (AGI)、Pastells 1928a: 286-287 (AGI) | |
| 【原】 BNM | 【西】 AGI (FILIPINAS, 6, R. 8, N. 114) | 村上訳注1929: 59-61 (AGI)、岩生1986: 6 (BNM)、バステルス1994: 86-87 | Blair 1903b: 123-124 (AGI)、Pastells 1928a: 324-325 (AGI)、Pezzali 1967 (BNM)、Muccioli 1969 (BNM) | |
| 【原】 尊経閣文庫 【写】 「異国日記」 | | 村上訳注1929: 68-69 (尊経閣文庫) | | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 6, R. 8, N. 114) | | 村上訳注1929: 62-66 (AGI)、バステルス1994: 88-90 | Blair 1903b: 126-130 (AGI)、Pastells 1928a: 325-327 (AGI) | |
| | 【西】 AGI (FILIPINAS, 6, R. 9, N. 140) | 村上訳注1929: 82-84 (AGI) | | |
| 【写】 ANTT (MSLIV/1126/2) | | 村上訳注1929: 70-74 (ANTT) | | |
| 【写】 ARSI (Jap. Sin. 45I) | 【西】 ARSI (Jap. Sin. 45I)、BNCR (Ges. 1469-3528) 【葡】 ANTT (MSLIV/1126/2) | 村上訳注1929: 78-82 (ANTT)、松田1967: 1020-1021 (ARSI)、バステルス1994: 162-164 | Patells 1928b: 87-88 (BNCR) | |
| | | | | 文面不詳。1599年7月12日付スペイン国王宛フランスコ・テリョ・デ・グスマン書翰 (AGI, FILIPINAS, 6, N. 154) にその送付が記される。 |
| | 【西】 ARSI (Jap. Sin. 131D) | 岸野1974: 53-55 (ARSI) | | |
| 【写】 ARSI (Jap. Sin. 45I) | | 岸野1974: 42-43 (ARSI) | | 1600年3月マニラ学院長宛アレックスandro・ヴァリニャーノ書翰に一部が引用される。 |
| 【写】 「異国日記」「異国近年御書草案」「鎔冶漫筆」 | | 村上訳注1929: 増238-240 (「異国近年御書草案」、中村1960: 94 (「異国日記」) | | |
| | 【西】 AGI | 村上訳注1929: 84-85 (AGI) | | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 19, R. 3, N. 35) | | 村上訳注1929: 増246-252 (AGI) | 村上訳注1929: 増247-251 (AGI) | |
| 【写】 AGI (FILIPINAS, 19, R. 3, N. 35) | | 村上訳注1929: 86-87 (AGI) | | |
| 【写】 「異国日記」「異国近年御書草案」「鎔冶漫筆」 | | 村上訳注1929: 増243-245 (「異国近年御書草案」、中村1960: 228 (「異国日記」) | | |

| No | 西暦年 | 文書上の年月日*1 | 使節 | 差出人 | 宛先 | 原文 |
|----|-------|----------------|-------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------|
| 27 | 1602 | 慶長七稔歲壬寅秋九月日 | Lope de Ulloa | 日本國源家康 | 呂宋國主 | 漢文 |
| 28 | 1603 | 慶長八年星軻癸卯正月日 | | 日本國大納言源秀忠 | 呂宋國主 | 漢文 |
| 29 | 1604 | 西土壹千陸百單肆年柒月念捌日 | | 呂宋國王郎敵洛勝君迎 (Pedro de Acuña) | 日本名高國王陛下 (徳川家康) | スペイン語、漢文*16 |
| 30 | 1605 | | | (徳川家康) | (Pedro de Acuña) | 漢文 |
| 31 | 1605 | 慶長十年九月十三日 | | (徳川家康) | | 和文 |
| 32 | 1606 | 丙午正月日 | | 日本國薩摩州刺史藤原義弘 (島津義弘) | 呂宋國王郎敵洛黎勝君迎 (Pedro de Acuña) | 漢文 |
| 33 | 1606 | 慶長十一年丙午正月日 | | 日本國薩摩州刺史藤原義弘 (島津義弘) | 呂宋國巴禮王錫須微釋賓郎輝來綿倪黎明昉密挨氏 (Miguel de Benavides) | 漢文 |
| 34 | 1606 | 慶長十一年丙午九月十五日 | | (徳川家康) | 呂宋國奉行衆 | 和文 |
| 35 | 1607 | 慶長十二曆丁未孟春嘉辰 | | 日本國征夷將軍源秀忠 | 呂宋刺史 | 漢文 |
| 36 | 1608 | 慶長十三年五月廿七日 | | 鈍ろちりこてひへいろ (Rodrigo de Vivero、フィリピン総督) | 前將軍家康尊公/日本國御主大御所 | 和文 |
| 37 | 1608 | 慶長十三年五月廿七日 | | どろちりこてひへいろ (Rodrigo de Vivero) | 征夷大將軍源秀忠/征夷將軍源秀忠 | 和文 |
| 38 | 1608 | 慶長十三年六月十八日 | | 日本國源家康 | 呂宋國太守 (Rodrigo de Vivero) | 和文 |
| 39 | 1608 | 慶長十三年戊申八月六日 | | 日本國源家康 | 呂宋國太守 (Rodrigo de Vivero) | 漢文 |
| 40 | 1608 | 慶長十三年戊申八月六日*17 | | (徳川家康) | 呂宋國太守 (Rodrigo de Vivero) | 和文 |
| 41 | 1608 | 慶長戊辰仲秋念四日 | | 日本國征夷大將軍源秀忠 | 呂宋國主 (Rodrigo de Vivero) | 漢文 |
| 42 | 1608 | 慶長十三戊申九月初五日*18 | | 日本國本多佐渡守正信 | 呂宋國太守 (Rodrigo de Vivero) | 漢文 |
| 43 | 1609 | 西土壹千陸百單玖年六月十三日 | | 呂宋國巴禮王郎輝來螺敷噠哩噠 (Diego de Soria) | 日本國王大都督那迷士那郎 (鍋島殿、鍋島勝茂) | 漢文 |
| 44 | 1609 | 慶長己酉孟秋七莢 | | 日本國源家康 | 呂宋國主 (フィリピン総督、Juan de Silva) | 漢文 |
| 45 | 1609 | 慶長十四年七月廿五日 | | (徳川家康) | 天川湊年寄中 | 和文 |
| 46 | 1609 | 慶長十四己酉十月六日 | Juan Baptista de Molina | 日本國源家康 | 呂宋國太守 (Juan de Silva) | 漢文 |
| 47 | 1609 | 慶長十四年十二月二十八日 | Alonso Muñoz | (徳川家康) | ネすはんやとふけいていれるま (Duque de Lerma, Francisco de Sandoval y Rojas) | 和文 |
| 48 | 1610 | 慶長十五年五月四日 | Alonso Muñoz | (徳川秀忠) | ネすはんや国主とうけいていれるま (Francisco de Sandoval y Rojas) | 和文 |
| 49 | 1611 | 慶長十六年辛亥秋七月十五日 | Nuno Sotomayor | 日本國執事上野介藤原正純 | 阿媽港中知府諸普老酋長等 | 漢文 |
| 50 | 1611 | 慶長十六辛亥季秋日 | Nuno Sotomayor | (徳川家康) | 黒船 | 漢文 |
| 51 | 1611 | (慶長16年) | Nuno Sotomayor | 日本國臣後藤庄三郎藤原光次 | 阿媽港中知府諸普老 | 漢文 |
| 52 | 1611 | (慶長16年) | Nuno Sotomayor | 日本國臣使船司長谷川左兵衛藤廣 | 阿媽港諸普老 | 漢文 |
| 53 | 1611 | (慶長16年)*19 | Nuno Sotomayor | 日本國執事上野介藤原正純 | 西城國海船總兵官東適我 (Diego de Vasconcellos) | 漢文 |
| 54 | 1611 | 慶長十六年龍集辛亥季秋日 | Domingo Fransisco | 日本國源家康 | 呂宋國主 (Juan de Silva) | 漢文 |
| 55 | 1611カ | | Domingo Fransisco | 日本國臣使船司長谷川左兵衛藤廣 | 呂宋國主 (Juan de Silva) | 漢文 |
| 56 | 1612 | 西土壹千陸百貳拾年陸月初壹日 | Domingo Fransisco | 鐵守呂宋東洋總評事兼興宜力郎漢系厘備 (Juan de Silva) | 日本大國王/日本國皇帝 | 漢文 |

| 原本、原語写本*2 | 訳写本 | 近代以後の翻刻、翻訳（日本語文献）*3 | 近代以後の翻刻、翻訳（他国語文献） | 備考 |
|------------------------------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 【写】「異国日記」「異国近年御書草案」 「銚治漫筆」 | | 村上訳注1929：増253-254（「異国近年御書草案」）、中村1960：235（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 「異国近年御書草案」 「銚治漫筆」 | | 村上訳注1929：増259-260（「異国近年御書草案」）、中村1960：303（「異国日記」） | | |
| 【写】「外国書翰」 「異国來翰認」 「外蕃書翰」 「銚治漫筆」 | | 『大日本史料』12編2：592-593（「外蕃書翰」）、村上訳注1929：88（「異国來翰認」）、中村1960：387（「外蕃書翰」） | | |
| | 【西】Morga, A., "Sucesos de las Islas Filipinas" | 『大日本史料』12編3：458-460（Morga）、村上訳注1929：91（Morga）、モルガ1966：277-278（Morga） | 『大日本史料』12編3：456-458（Morga） | |
| 【写】「異国御朱印帳」 | | 『大日本史料』12編3：454-455（「異国御朱印帳」）、中村1960：444（「異国御朱印帳」） | | |
| 【写】「異国日記」 「南浦文集」 | | 『大日本史料』12編3：900-901（「異国日記」）、村上訳注1929：増261-262（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 「南浦文集」 | | 『大日本史料』12編3：902（「異国日記」）、村上訳注1929：増265（「異国日記」） | | ほかに、この時の呂宋船主に宛てて後年に送ったと考えられる、年月日欠の島津義弘文書あり（「異国日記」 「南浦文集」）。 |
| 【写】「異国御朱印帳」 | | 『大日本史料』12編4：350-351（「異国日記」）、中村1960：491-492（「異国御朱印帳」） | | 案文。 |
| 【写】「外国入津記」 「落穂雑談一言集」 | | 『大日本史料』12編10：198（「外国入津記」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編5：707-708（「異国日記」）、村上訳注1929：増9-10（「異国日記」）、中村1960：543（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編5：704-705（「異国日記」）、村上訳注1929：増1-3（「異国日記」）、中村1960：544（「異国日記」） | | |
| 【写】「歴朝要記」 | | 『大日本史料』12編5：722（「歴朝要記」） | | |
| 【写】「異国日記」 「異国出契」 | | 『大日本史料』12編5：708（「異国日記」）、村上訳注1929：増11-13（「異国日記」）、中村1960：541-542（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 「本受寺文書」 | | 『大日本史料』12編5：716（「本受寺文書」）、村上訳注1929：増13-14（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編5：705-706（「異国日記」）、村上訳注1929：増7-8（「異国日記」）、中村1960：544（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 「本受寺文書」 | | 『大日本史料』12編5：709-710（「本受寺文書」）、村上訳注1929：増14-16（「異国日記」）、中村1960：545-546（「本受寺文書」） | | |
| 【写】「鍋島勝茂譜考補」 | | 『大日本史料』12編10：253-254（「鍋島勝茂譜考補」）、村上訳注1929：101-102（「鍋島勝茂譜考補」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編6：417-418（「異国日記」）、村上訳注1929：増17-18（「異国日記」）、中村1960：577（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編6：500（「異国日記」）、村上訳注1929：増40（「異国日記」）、中村1960：585（「異国日記」） | | |
| 【写】「異国日記」 「兩朝國書」 | | 『大日本史料』12編6：692（「異国日記」）、村上訳注1929：増45-47（「異国日記」）、中村1960：595（「異国日記」） | | |
| 【原】AGI（MP-Escritura y Cifra, 30） | 【西】AGI | 『大日本史料』12編7：215（AGI）、村上訳注1929：93（AGI）、中村1960：602（AGI） | | |
| 【原】AGI（MP-Escritura y Cifra, 31） | | 『大日本史料』12編7：215-216（AGI）、村上訳注1929：94（AGI）、中村1960：602-603（AGI） | | |
| 【写】「異国日記」 「羅山林先生文集」 | | 『大日本史料』12編8：527-528（「羅山林先生文集」）、村上訳注1929：増58-59（「羅山林先生文集」）、中村1960：674-675（「羅山林先生文集」） | | |
| 【写】「異国日記」 「本光国師日記」 | | 『大日本史料』12編8：530（「異国日記」）、村上訳注1929：増54（「異国日記」）、中村1960：673（「異国日記」） | | |
| 【写】「羅山林先生文集」 | | 『大日本史料』12編8：528-530（「羅山林先生文集」）、村上訳注1929：増59-61（「羅山林先生文集」）、中村1960：675-676（「羅山林先生文集」） | | |
| 【写】「羅山林先生文集」 | | 『大日本史料』12編8：528（「羅山林先生文集」）、村上訳注1929：増102（「異国日記」）、中村1960：675（「羅山林先生文集」） | | |
| 【写】「羅山林先生文集」 「江雲隨筆」 「高麗考略」 | | 『大日本史料』12編8：526-527（「羅山林先生文集」）、村上訳注1929：増57-58（「羅山林先生文集」）、中村1960：673-674（「羅山林先生文集」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編8：731（「異国日記」）、村上訳注1929：増52（「異国日記」）、中村1960：672（「異国日記」） | | |
| 【写】「羅山林先生文集」 | | 『大日本史料』12編8：732（「羅山林先生文集」）、村上訳注1929：増53-54（「羅山林先生文集」） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：124-125（「異国日記」）、村上訳注1929：増103-105（「異国日記」）、中村1960：731-732（「異国日記」） | | |

| No | 西暦年 | 文書上の年月日*1 | 使節 | 差出人 | 宛先 | 原文 |
|----|------|------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------|
| 57 | 1612 | 西土壹千陸百拾貳年陸月初壹日 | Domingo Fransisco | 鎖守呂〔宋脱〕東洋總評事兼興宜力郎漢系厘備 (Juan de Silva) | 日本國大掌文黨防君史稽郎史稽嗎殺史 (本多正純) | 漢文 |
| 58 | 1612 | 西土壹千陸百拾貳年陸月初壹日 | Domingo Fransisco | 鎖守呂宋東洋總評事兼興宜力郎漢系厘備 (Juan de Silva) | 日本國大國貯放多輔甲毛羅 (後藤光次) | 漢文 |
| 59 | 1612 | 西土壹千陸百拾貳年陸月初壹日 | Domingo Fransisco | 鎖守呂宋東洋總評事兼興宜力郎漢系厘備 (Juan de Silva) | 日本國王唾勝逃士嗎新蝦山羅奴 (鍋島勝茂佐賀殿) | 漢文 |
| 60 | 1612 | 慶長十七龍集壬子夏六月日 | Sebastián Vizcaino | 日本國源家康 | 濃見數般國主 | 漢文 |
| 61 | 1612 | 慶長龍集壬子夏六月日 | Sebastián Vizcaino | 日本國臣上野介藤原正純 | 濃見數般國執事 | 漢文 |
| 62 | 1612 | | Oratio Neretti | 西城國署五和王事雷羅令所徳大奧六 (Ruy Lourenço de Tavora) | 大日本國王 | 漢文 |
| 63 | 1612 | 大明萬曆四十年夏六月 | Oratio Neretti | 西城國臣總兵巡海務事彌格兒幾蘇沙庇蒙德兒 (Miguel de Souza Pimentel) | 大日本國王 | 漢文 |
| 64 | 1612 | 大明萬曆四十年壬子夏六月 | Oratio Neretti | 西城國臣奉行天川港知府事文會華殊、臣機所功沙訥、臣衛視獎昂涼陸、臣彌格哥黎等 (Manoel Vaz, Francisco Sena, Agostinho Lobo, Miguel Correa) | 日本國王 | 漢文 |
| 65 | 1612 | 大明萬曆四十年壬子夏六月 | Oratio Neretti | 西城國臣奉行天川港知府事文會華殊、機所功沙訥、衛視獎昂涼陸、彌格哥黎等 (Manoel Vaz, Francisco Sena, Agostinho Lobo, Miguel Correa) | 日本國本多上野介相公 (本多正純) | 漢文 |
| 66 | 1612 | | Oratio Neretti | 五和にて之一番之軍大將ミける・で・そうさ・びめんている (Miguel de Souza Pimentel) | (本多正純) | ポルトガル語 |
| 67 | 1612 | | Oratio Neretti | 五和にて二番之軍大將どん・ぬうぎよ・そとまうる (Nuno Sotomayor) | (本多正純) | ポルトガル語 |
| 68 | 1612 | 大明萬曆四十年壬子夏六月 | Oratio Neretti | 西城國臣奉行天川港知府事文會華殊、機所功沙訥、衛視獎昂涼陸、彌格哥黎等 (Manoel Vaz, Francisco Sena, Agostinho Lobo, Miguel Correa) | 日本國後藤庄三郎 | 漢文 |
| 69 | 1612 | 慶長十七年七月十日*20 | Sebastián Vizcaino | 日本國征夷將軍源秀忠 | 濃見數般國主 | 漢文 |
| 70 | 1612 | 壬子八月日 | Oratio Neretti | 島津少將家久 | 南蠻船主大肆長 (Nuno Sotomayor) | 漢文 |
| 71 | 1612 | 壬子八月日 | Oratio Neretti | 島津少將家久 | 南蠻四國老 (Manoel Vaz, Francisco Sena, Agostinho Lobo, Miguel Correa) | 漢文 |
| 72 | 1612 | 慶長十七曆季秋中浣 | Oratio Neretti | 日本國征夷將軍源秀忠 | 五和國刺史 (Ruy Lourenço de Tavora) | 漢文 |
| 73 | 1612 | 慶長十七龍集壬子九月日 | Oratio Neretti | 日本國源家康 | 五和國刺史 (Ruy Lourenço de Tavora) | 漢文 |
| 74 | 1612 | 慶長十七壬子歲九月日 | Oratio Neretti | 日本國臣上野介藤原正純 | 天川港知府事文會華殊等 | 漢文 |
| 75 | 1612 | 慶長十七壬子歲九月日 | Oratio Neretti | 日本國臣上野介藤原正純 | 天川港執事中 | 漢文 |
| 76 | 1612 | 慶長十七歲在壬子九月日 | Oratio Neretti | 日本國臣上野介藤原正純 | 五和軍將東適我 | 漢文 |
| 77 | 1612 | 慶長十七歲壬子九月日 | Oratio Neretti | 日本國臣上野介藤原正純 | 五和軍將東魯訥 (Nuno Sotomayor) | 漢文 |
| 78 | 1612 | 慶長十七曆秋末暮 | Oratio Neretti | 本多佐渡守正信 | 五和國魯訥前船主 (Nuno Sotomayor) | 漢文 |
| 79 | 1612 | 慶長十七歲在壬子九月日 | Oratio Neretti | 日本國後藤庄三郎光次 | 天川港知府事文會華殊等 | 漢文 |
| 80 | 1612 | 慶長十七歲壬子九月日 | | 日本國源家康 | 呂宋國主 | 漢文 |
| 81 | 1612 | 慶長十七歲壬子九月日 | | 日本國臣上野介藤原正純 | 呂宋國執事 | 漢文 |
| 82 | 1612 | 慶長十七歲在壬子九月日 | | 日本國後藤庄三郎光次 | 呂宋國執事 | 漢文 |
| 83 | 1612 | 日本慶長拾柒年壬子閏十月貳拾壹日 | | 鍋島信濃守農忠臣朝臣勝茂 | 蝦國皇帝閣下 (スペイン国王、Felipe III) | 漢文 |

| 原本、原語写本*2 | 訳写本 | 近代以後の翻刻、翻訳（日本語文献）*3 | 近代以後の翻刻、翻訳（他国語文献） | 備考 |
|-------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：125-126（『異国日記』）、村上訳注1929：増106-107（『異国日記』）、中村1960：732-733（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：126-127（『異国日記』）、村上訳注1929：増111-112（『異国日記』）、中村1960：733-734（『異国日記』） | | |
| 【写】「鍋島勝茂譜考補」 | | 『大日本史料』12編10：254-255（『鍋島勝茂譜考補』）、村上訳注1929：102-103（『鍋島勝茂譜考補』） | | |
| 【写】「異国日記」 | 【西】AGI | 『大日本史料』12編9：960-961、968-970（『異国日記』、AGI）、村上訳注1929：増64-67（『異国日記』）、中村1960：706（『異国日記』） | 『大日本史料』12編9：965-967（AGI）、村上訳注1929：増65-66（AGI） | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編9：962-963（『異国日記』）、村上訳注1929：増69-70（『異国日記』）、中村1960：708（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：111-113（『異国日記』）、村上訳注1929：増82-83（『異国日記』）、中村1960：714-716（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：113-115（『異国日記』）、村上訳注1929：増87-90（『異国日記』）、中村1960：716-718（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：115-118（『異国日記』）、村上訳注1929：増92-94（『異国日記』）、中村1960：718-719（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：118-119（『異国日記』）、村上訳注1929：増95-97（『異国日記』）、中村1960：720-722（『異国日記』） | | |
| | 【和】「異国日記」 | 『大日本史料』12編10：120-121（『異国日記』）、村上訳注1929：増98-100（『異国日記』）、中村1960：722-723（『異国日記』） | | |
| | 【和】「異国日記」 | 『大日本史料』12編10：121-122（『異国日記』）、村上訳注1929：増100-101（『異国日記』）、中村1960：723（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：122-123（『異国日記』）、村上訳注1929：増108-110（『異国日記』）、中村1960：723-725（『異国日記』） | | |
| 【写】「統善隣国宝記」「古今消息集」 | 【西】AGI | 『大日本史料』12編9：970-971、975-976（『古今消息集』、AGI）、村上訳注1929：増77-78（『古今消息集』） | 『大日本史料』12編9：972-973（AGI）、村上訳注1929：増77-78（AGI） | |
| 【写】「異国日記」「統善隣国宝記」「南浦文集」 | | 『大日本史料』12編10：77-78（『南浦文集』）、村上訳注1929：増266-267（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」「統善隣国宝記」「南浦文集」 | | 『大日本史料』12編10：78（『南浦文集』）、村上訳注1929：増267-268（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」「古今消息集」 | | 『大日本史料』12編10：128（『異国日記』）、村上訳注1929：増113-114（『異国日記』）、中村1960：725（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：128-129（『異国日記』）、村上訳注1929：増114-115（『異国日記』）、中村1960：713-714（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：130-131（『異国日記』）、村上訳注1929：増116-118（『異国日記』）、中村1960：725-726（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：131（『異国日記』）、村上訳注1929：増118（『異国日記』）、中村1960：726-727（『異国日記』） | | 『異国日記』によると、No. 74を封入したの封筒に書かれたとのこと。 |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：131-132（『異国日記』）、村上訳注1929：増118-119（『異国日記』）、中村1960：727-728（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：132-133（『異国日記』）、村上訳注1929：増120（『異国日記』）、中村1960：728（『異国日記』） | | |
| 【写】「古今消息集」 | | 『大日本史料』12編10：132-133（『古今消息集』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：133-134（『異国日記』）、村上訳注1929：増121（『異国日記』）、中村1960：729（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：134-135（『異国日記』）、村上訳注1929：増122（『異国日記』）、中村1960：730（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：135-136（『異国日記』）、村上訳注1929：増123-124（『異国日記』）、中村1960：734-735（『異国日記』） | | 同日付の追啓が付属。 |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編10：136-137（『異国日記』）、村上訳注1929：増125（『異国日記』）、中村1960：735-736（『異国日記』） | | |
| 【写】「鍋島文書」 | | 『大日本史料』12編10：255-（『鍋島文書』）、村上訳注1929：103-104（『鍋島文書』） | | これ以前（年未詳、本表未掲出）にもたらされた文書に対する返書の形をとっている。 |

| No | 西暦年 | 文書上の年月日*1 | 使節 | 差出人 | 宛先 | 原文 |
|-----|------|------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------|
| 84 | 1613 | 西土一千六百十三年仲夏 | Domingo Fransisco | 呂宋國虞文勝律郎宣系厘猶 (Juan de Silva) | 日本國王都元帥 (徳川家康) | 漢文 |
| 85 | 1613 | 西土一千六百十三年仲夏 | Domingo Fransisco | 呂宋國虞文勝律郎宣系厘猶 (Juan de Silva) | 日本國大藩宣執事 (本多正純) | 漢文 |
| 86 | 1613 | 西土一千六百十三年仲夏 | Domingo Fransisco | 呂宋國虞文勝律郎宣系厘猶 (Juan de Silva) | 日本國島藤庄三郎大動老 (後藤光次) | 漢文 |
| 87 | 1613 | 西土一千六百十三年仲夏 | Domingo Fransisco | 呂宋國虞文勝律郎宣系厘猶 (Juan de Silva) | 鍋島信濃守大執事 (鍋島勝茂) | 漢文 |
| 88 | 1613 | 西土一千六百十三年仲夏 | Domingo Fransisco | 呂宋國砂機礁学西敵門達勝 (Josephe de Mena) | 日本國大司馬執事 (本多正純) | 漢文 |
| 89 | 1613 | 西土一千六百十三年仲夏 | Domingo Fransisco | 呂宋國砂機礁学西敵門達勝 | 後藤庄三郎大元勳 | 漢文 |
| 90 | 1613 | XX de junio de 1613 (1613年6月20日) | Diego de Santa Catalina | Don Phelipe (Felipe III) | Minamoto Yheas universal senor de Japón (日本全国の君源家康) | スペイン語 |
| 91 | 1613 | 慶長十八年九月四日 | 支倉常長 | (伊達政宗) | えすはんやの國大帝王どんひりつへ (Felipe III) | 和文 |
| 92 | 1613 | 慶長十八年季九月四日 | 支倉常長 | (伊達政宗) | のびすはんやの國びそれい (Diego Fernández de Córdoba) | 和文 |
| 93 | 1613 | 慶長十八年季九月四日 | 支倉常長 | (伊達政宗) | 濃見敷般之さんふらんしすこの御門派こみさりよせねらる (Comisario general de O.F.M.) | 和文 |
| 94 | 1613 | 慶長十八年季九月四日 | 支倉常長 | (伊達政宗) | 三とえはんぜりよのほろびんしやの司 (Provincia general del santo evangelio) | 和文 |
| 95 | 1613 | 慶長十八年季九月四日 | 支倉常長 | (伊達政宗) | えすはんやの内いんちあすのこみさりよせねらる (Comisario general de Indias) | 和文 |
| 96 | 1613 | 慶長十八年九月四日 | 支倉常長 | 伊達陸奥守政宗 | せひいやしたあて (セビージャ市) | 和文 |
| 97 | 1613 | 慶長十八歳癸丑季秋上旬 | Domingo Francisco | 日本國源家康 | 呂宋國主 (Juan de Silva) | 漢文 |
| 98 | 1613 | 慶長十八歳在癸丑季秋上澁 | Domingo Francisco | 日本國臣上野介藤原正純 | 呂宋國執事 | 漢文 |
| 99 | 1613 | 慶長十八歳在癸丑季秋上澁 | Domingo Francisco | 日本國後藤庄三郎光次 | 呂宋國執事 | 漢文 |
| 100 | 1613 | 慶長十八年孟冬初六日 | Domingo Francisco | 鍋島信濃守豊臣朝臣勝茂 | 呂宋國虞文勝律郎大執事 | 漢文 |
| 101 | 1613 | XXIII de noviembre de 1613 (1613年11月23日) | Diego de Santa Catalina | Don Felipe (Felipe III) | Dainagonsama (大納言様、徳川秀忠) | スペイン語 |
| 102 | 1615 | 元和初元冬十月日 | | 日本國薩摩州刺史藤原家久 (島津家久) | 呂宋國司職 (Juan de Silva) | 漢文 |
| 103 | 1616 | 12 de julio de 1616 años (1616年7月12日) | 支倉常長 | Don Phélique (Felipe III) | (伊達政宗) | スペイン語 |
| 104 | 1616 | 元和二年七月廿四日 | | (伊達政宗) | のびすはんやの國ひそれい (副王Diego Fernández de Córdoba) | 和文 |
| 105 | 1616 | 元和二年七月廿四日 | | (伊達政宗) | 濃見敷般國さんふらんしす御門派せねらる | 和文 |
| 106 | 1617 | 御出世千六百一十七年 | | 蒙古帝徳大師兼呂宋國大守宮等 | 日本土佐州太守 (山内忠義) | 漢文 |
| 107 | 1617 | 童〔竜カ〕集丁巳冬之仲之日十五日 | | 日本土州太守源忠義 | 呂宋國大守宮人 | 漢文 |
| 108 | 1621 | (元和七年) 西六月廿五日 | | 天川年寄三人 | 土井大炊助 (利勝) | ポルトガル語 |
| 109 | 1621 | 元和七歳在辛酉九月日*21 | | 日本國臣大炊助藤原利勝 | 天川港知府事三員 | 漢文 |
| 110 | 1623 | | Fernando de Ayala | (Alonso Fajardo de Entenza、フィリピン総督) | | 漢文カ |

*1 文書上の年月日、差出人、宛先の項については、文書中、ないし写本の表題等に拠り、努めて典拠史料の表記に忠実に記した。ただし、欧文史料における省略等については、閲読の便を考慮して適宜文字を補った。また、典拠史料の破損により判読不能箇所については、近代の翻刻に依拠して角括弧〔 〕で補った。典拠には原文ないし原語写本が存するものはそれを、存しないものについては訳写本を用いた。文書上に明記されてこそないが類推可能な事柄やその他の補足事項は、必要に応じて丸括弧()内に記した。

*2 原本、原語写本および訳写本の項には、主な所蔵者ないし収録史料名を挙げ、原本、原語写本については原・写の別を、訳写本については翻訳言語を墨付括弧【 】内に記した。また、ヨーロッパ所在の所蔵者については判明する限りにおいて架蔵番号を丸括弧()内に記し、以下の略称を用いた。

AGI Archivo General de Indias インディアス総合文書館
 AGS Archivo General de Simancas シマンカス総合文書館
 ARSI Archivum Romanum Societatis Iesu ローマ・イエズス会文書館
 AMS Archivo Municipal de Sevilla セビージャ市文書館
 ANTT Arquivo Nacional Torre do Tombo トルレ・ド・トンボ国立文書館
 BNCR Biblioteca Nazionale Centrale di Roma 国立ローマ中央図書館
 BNM Biblioteca Nazionale Marciana 国立マルチャーナ図書館

| 原本、原語写本*2 | 訳写本 | 近代以後の翻刻、翻訳（日本語文献）*3 | 近代以後の翻刻、翻訳（他国語文献） | 備考 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：677-679（『異国日記』）、村上訳注1929：増170-171（『異国日記』）、中村1960：793-794（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：680-681（『異国日記』）、村上訳注1929：増174-175（『異国日記』）、中村1960：794-795（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：682（『異国日記』）、村上訳注1929：増177-178（『異国日記』）、中村1960：795（『異国日記』） | | |
| 【写】「鍋島勝茂譜考補」 | | 『大日本史料』12編13：41（『鍋島勝茂譜考補』）、村上訳注1929：104-105（『鍋島勝茂譜考補』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：679-680（『異国日記』）、村上訳注1929：増173-174（『異国日記』）、中村1960：796（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：681-682（『異国日記』）、村上訳注1929：増176-178（『異国日記』）、中村1960：797（『異国日記』） | | |
| 【写】AGI（87-5-2） | | 『大日本史料』12編12：446-448、457-459（AGI）、村上訳注1929：97-99（AGI） | 『大日本史料』12編12：欧394-396、403-404（AGI） | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | | 『大日本史料』12編12：171-173（『南蛮国書翰案文』）、村上訳注1929：115-117（『南蛮国書翰案文』） | | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | 【西】AGS（Estado, España, 256） | 『大日本史料』12編12：42-44（『南蛮国書翰案文』、AGS） | 『大日本史料』12編12：欧31（AGS） | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | | 『大日本史料』12編12：64-65（『南蛮国書翰案文』） | | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | | 『大日本史料』12編12：65-66（『南蛮国書翰案文』） | | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | | 『大日本史料』12編12：178-179（『南蛮国書翰案文』） | | |
| 【原】AMS | 【伊】Amati, S. "Historia del regno di Voxu del Giappone." | 『大日本史料』12編12：83-84（AMS） | 『大日本史料』12編12：欧50-51（Amati） | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：683（『異国日記』）、村上訳注1929：増199-200（『異国日記』）、中村1960：792（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：684-685（『異国日記』）、村上訳注1929：増201-203（『異国日記』）、中村1960：797-799（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」 | | 『大日本史料』12編11：685-687（『異国日記』）、村上訳注1929：増203-204（『異国日記』）、中村1960：799-800（『異国日記』） | | 同日付の追啓が付属。 |
| 【写】「鍋島勝茂譜考補」 | | 『大日本史料』12編13：41-42（『鍋島勝茂譜考補』）、村上訳注1929：105-106（『鍋島勝茂譜考補』） | | |
| 【写】AGI | | 『大日本史料』12編12：454-455（AGI）、村上訳注1929：99-100（AGI） | 『大日本史料』12編12：欧400-401（AGI） | |
| 【写】「江雲隨筆」 | | 岩生1972:82（『江雲隨筆』） | | |
| 【写】AGI | | 『大日本史料』12編12：392-394（AGI）、村上訳注1929：126-128（AGI） | 『大日本史料』12編12：欧348-349（AGI）、 | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | | 『大日本史料』12編12：500-501（『南蛮国書翰案文』） | | |
| 【写】「南蛮国書翰案文」 | | 『大日本史料』12編12：501-502（『南蛮国書翰案文』） | | |
| 【写】「南路志」 | | 『大日本史料』12編28：240（『南路志』）、岩生1972：83（『南路志』） | | |
| 【写】「南路志」 | | 『大日本史料』12編28：239-240（『南路志』）、岩生1972：84（『南路志』） | | |
| | 【和】「異国日記」 | 村上訳注1929：増213-214（『異国日記』） | | |
| 【写】「異国日記」「江雲隨筆」「高麗考略」 | 【和】「異国日記」 | 村上訳注1929：増214-216（『異国日記』）、 | | |
| | | | | 使節到来の事実は明らかだが、文書の文面は不明。 |

【文献一覧】

- 岩生成一1972『日本南方諸国往復書翰（補遺）』『南島史学』1
 岩生成一1986『文禄二年（一五九三）呂宋長官あて豊臣秀吉の書翰について』『古文書研究』25
 園本真2019『天正二〇年の小琉球宛豊臣秀吉書写』松方冬子編『国書がむすぶ外交』東京大学出版会
 岸野久1974『関ヶ原戦役前における徳川家康とフィリピンとの交渉——ローマ・イエズス会文書による——』『キリスト教史学』28
 清水有子2012『近世日本とトルコ——「鎖国」形成史再考——』東京堂出版
 中村孝也1960『徳川家康文書の研究』下巻之一、日本学術振興会
 松田毅一1967『近世初期日本関係南蛮史料の研究』風間書房
 松田毅一・川崎桃太郎訳1977『フロイス 日本史』2・豊臣秀吉篇Ⅱ、中央公論社
 松田毅一監訳1987『十六・七世紀イエズス会日本報告集』第1期第一巻、同朋舎出版
 パステルス、バプロ（松田毅一訳）1994『16-17世紀日本・スペイン交渉史』大修館書店（Pastells 1928の抜粋翻訳）
 村上直次郎訳注1929『異国往復書翰集・増訂異国日記抄』駿南社
 モルガ、アントニオ・デ（神吉敬三訳、箭内健次訳注）1966『フィリピン諸島誌』（大航海時代叢書Ⅶ）岩波書店
 Alvarez, Jose Luis, 1940. "Dos Notas Sobre la Embajada del Padre Juan Cobo 漢高茂", *Monumenta Nipponica*, 3 (2)

- *3 近代以後の翻刻、翻訳の項（日本語文献、他国語文献とも）には、それらを掲載した主な文献を、おおむね著者名や訳者名および刊行年による略称を用いて挙げた（一覧は右記）。ただし、「異国日記」や「羅山林先生文集」など、史料全編を翻刻した文献の存する場合は、当該文書がその文献に収録されていることは明らかであるため、割愛した。また、他の近代以後の翻刻・翻訳を再録した文献についても省略したが、同一人による再録の場合は、新しい方の文献を挙げたものもある。略称の後には必要に応じて掲載頁を記し、その後の丸括弧（ ）内には、上記文献の翻刻ないし翻訳の典拠となった原本や写本を注記した。ただし、バステルス1994はPastells 1903aやPastells 1903bなどを抄訳したものであるため、これに関する典拠注記を省略した。
- *4 いったん1587年と書かれた後、加筆により1588年と改められている。
- *5 訳写本はいずれも天正20年7月25日付。
- *6 村上訳注1929は浅野長吉に比定。
- *7 宛先のSiaulyquiuu小琉球は、訳写本には発信地として記されるが、村上訳注1929の指摘するとおり、原文の宛先を、翻訳者が発信地と見誤ったものと考えられる。
- *8 日付は「朝鮮征伐記」およびBNCR所蔵本、ARSI所蔵本による。AGI所蔵本は19日付。
- *9 BNCR所蔵本およびARSI所蔵本は日本語からポルトガル語、ポルトガル語からスペイン語への重訳。また、AGI所蔵本には、総督府による翻訳と、日本使節による訳文の2通が存在。
- *10 村上訳注1929には19日付とある。
- *11 BNCR所蔵本およびARSI所蔵本は天正20年7月21日付。
- *12 BNCR所蔵本およびARSI所蔵本は日本語からポルトガル語、ポルトガル語からスペイン語への重訳。AGIには、文書の内容に関する、ルソン使節随員の証言と、日本使節の陳述が所蔵される。
- *13 Pastells 1928aには28日付とある。
- *14 Pastells 1928aには1594年4月22日付とある。
- *15 村上訳注1929には5月27日付とある。
- *16 『慶長日件録』慶長9年閏8月12日条によれば、使節は彼国の字（スペイン語）と漢字の二通りで書かれた文書を持参。
- *17 「本受寺文書」は孟秋日付。
- *18 「本受寺文書」は九月中流付。
- *19 「江雲隨筆」「高麗考略」には、本文の前に「慶長十六辛亥七月」と記される。
- *20 「続善隣国宝記」は慶長十七年孟秋中流付。また、AGI所蔵本はla era de Quecho, que es año de mill y seiscientos y doze（慶長年すなわち1612年）付。村上訳注1929には慶長17年6月付とある。
- *21 「江雲隨筆」「高麗考略」は文末割書に元和七歳とのみあり、月日を欠く。和文は9月23日付。

- Blair, Emma Helen (ed.), 1903a, *The Philippine Islands 1493-1898*, vol. VIII 1591-1593
- Blair, Emma Helen (ed.), 1903b, *The Philippine Islands 1493-1898*, vol. IX 1593-1597
- Muccioli, Marcello, 1969, "Su una lettera di Hideyoshi del 1593 al governatore delle Filippine trovata nella Biblioteca Marciana", *Annali dell'Istituto Universitario Orientale di Napoli*, Nuova Serie, XIX
- Pastells, Pablo, 1928a, *Catalogo de los documentos relativos a las islas Filipinas existentes en el Archivo de Indias de Sevilla*, vol. III, Compania General de Tabacos de Filipinas
- Pastells, Pablo, 1928b, *Catalogo de los documentos relativos a las islas Filipinas existentes en el Archivo de Indias de Sevilla*, vol. IV, Compania General de Tabacos de Filipinas
- Pezzali, Amalia, 1967, "Una lettera originale di Hideyoshi del 1593 al Governatore delle Filippine fra i manoscritti orientali della Biblioteca Marciana", *Atti dell'Istituto Veneto di Scienze, Lettere ed Arti*, Classe di Scienze Morali, Lettere ed Arti, Tomo CXXV

表3

| No | 西暦年 | 文書上の年月日 | 使節名 | 差出表記(説明) | 宛先 | 原文(の写本) |
|----|------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1609 | *1 | Abraham van den Broeck, Nicolaes Puyck | | | 現存せず |
| 2 | 1609 | 慶長十四龍集己酉孟秋二十五日 | | 家康 | 阿蘭陀国主殿下 | 異国日記1 |
| 3 | 1610 | 18en december anno 1610 | Hendrik Brouwer | Mauritius Prince van Orangie. Grave van Nassouwe enz. (オランダ公マウリッツ) *5 | Den Grootmachtichsten Keyser ende Coninck van Japan (日本国主源家康) | NL-HaNA 1.04.02. VOC11274 |
| 4 | 1612 | 慶長十七年壬子十月日 | | 日本国源家康 | 阿蘭陀国主麾下 | 異国日記1 |
| 5 | 1613 | 「在位第8年1月」*2 | John Saris | 大ぶりたみや国ノ王せめし帝王(イングランド国王ジェームズ1世) | 日本將軍 | The First Letter book of the East India Company, India Office Record, British Museum |
| 6 | 1613 | 慶長十八歳癸丑季秋上旬 | | 日本国源家康 | 伊伽羅訶羅国主 | 異国日記1 |
| 7 | 1627 | 1627年5月10日付*3 | Pieter Nuyts | (オランダ東インド会社東インド総督) | (徳川秀忠)(徳川家光) *6 | 現存せず |
| 8 | 1642 | 28 juni 1642 | | Antonio van Diemen(オランダ東インド会社東インド総督) | Ricjxraden van Japan | NL-HaNA 1.04.02. VOC866 |
| 9 | 1645 | 隆武元年拾貳月拾貳日 | 林高 | 周崔芝 | | 華夷変遷上、統善隣国宝記・同外記、外蕃通書 |
| 10 | 1645 | 隆武元年拾貳月拾貳日 | 林高 | 周崔芝 | | 華夷変遷上、外蕃通書 |
| 11 | 1646 | 隆武二年朔月十三日 | | 鄭芝龍 | 正京皇帝 | 2通あったらしいが、伝存せず |
| 12 | 1648 | ロウウカンコクノ三年十月十七日 *4 | | 鄭彩 | 日本国王 | 現存せず |
| 13 | 1649 | 監国魯王四年十月 | | 大明魯王 | 長崎奉行 | 現存せず |
| 14 | 1649 | Het jaar de 6 maan 18e dach zijnde Den 27en julij anno 1649 | Petrus Blockhovius, Andries Frisius | (オランダ東インド会社東インド総督) | (長崎奉行) | 現存せず |
| 15 | 1658 | なし | | 鄭成功 | 日本国上將軍 | 華夷変遷上、外蕃通書 |
| 16 | 1667 | la 24e Annee de mon Regne | Francois Caron | Le Roi, Louis (ルイ14世) | | 未確認 |
| 17 | 1671 | Four & Twentieth day of August 1671 | Simon Delboe | Charles (イングランド国王チャールズ2世) | Emperor of Japan | IOR G/12/9 pp. 622-623 |
| 18 | 1671 | 6th of September 1671 | Simon Delboe | most humble servants (イギリス東インド会社本社) | Emperor of Japan | IOR G/12/9 pp. 623-625 |
| 19 | 1675 | きのと乃卯五月廿八日 | | やんまついける(オランダ東インド会社東インド総督Maetsuijcker) | 「ながさき御両まところさま」 | NL-HaNA 1.04.21. NFJ636 *7 |
| 20 | 1683 | | | 「和蘭本地公班衙信寄」(オランダ東インド会社東インド総督Speelman) | 「上日本大王書」 | NL-HaNA 1.04.21. NFJ652 *8 |

*1 オランダ東インド会社重役会(17人会)は1606年2月に日本皇帝あてマウリッツの書翰を呈することを決議(加藤「幕藩制国家の成立と対外関係」127頁)

*2 文中の表現。

*3 オランダ語訳による。

*4 「ロウウカンコク」は、「魯王監国」。

*5 enz.はenzovoortで「等々」の意味。実際には、称号が長く続いている。

*6 オランダ語の表現ではどちらもKeizer(皇帝)。

*7 原本(写しは「長崎御役所留」、通統一覧4にあり)。原本の写真は、Tanaka-van Daalen, "Communicating with the Japanese under Sakoku."にカラー図版あり。

*8 原本。

*9 オランダ語であろう。

*10 加藤「幕藩制国家の成立と対外関係」は、和文を正本とするも、「オランダ商館長日記」には日蘭どちらが正本か、必ずしも判然としない。ポルトガル語文は伝存せず。

*11 「増訂異国日記抄」には、オランダ語文書写しがあり、オランダ国立中央図書館所蔵であることはわかるが、所蔵番号は不明(未確認)である。

| 原文の言語 | 当時の訳（または控） | 近代以降の翻刻（原文） | 近代以降の翻刻（訳文） | 備考 |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 「彼国ノ文字」（異国日記）*9 | なし | | | |
| 漢文 | NL-HaNA*11 | 『大日本史料』12-6、451頁、『家康文書の研究』下1、583頁 | 『増訂異国日記抄』22-23頁 | |
| オランダ語 | 異国日記1、外蕃書翰、 | 『大日本史料』12-10、178-185頁 | 『大日本史料』12-10、178-185頁 | 16120330付東インド総督Pieter Bothの添え状（本多正純宛）あり（摂津能福寺文書に和訳のみあり）『大日本史料』12-10、186-187頁 |
| 漢文 | なし | 『大日本史料』12-10、193-195頁、『家康文書の研究』下1、737頁 | | 異国日記によれば10月29日清書、阿蘭陀ノ船便に渡す。本多正純添え状あり |
| 英語 | 異国日記1、外蕃書翰、 | 『大日本史料』12-11、461-462頁、『The English Factory in Japan, 1613-1623, p. 63 | 『大日本史料』12-11、456-457頁、『家康文書の研究』下1、791頁 | |
| 漢文 | なし | 『家康文書の研究』下1、788頁 | | |
| カナマシリ（異国日記） | Bataviase Uitgaande Briefboek, NL-HaNA 1.04.02. VOC 854 | なし | オランダ語控からの日本語訳は『増訂異国日記抄』227-231頁 | |
| オランダ語（ポルトガル語・日本語訳付きで送付）*10 | 和文NL-HaNA 1.04.21. NFJ635 | 『日本関係海外史料 オランダ商館長日記』原文編6、197-210頁 | 和文『長崎市史 通航貿易編 西洋諸国部』附録、98-119頁、金井開『半天満洲状考』筋内健次『鎖国日本と国際交流』上、355-394頁、金井『日蘭交渉史の研究』368-377頁、オランダ語原文からの日本語訳は『日本関係海外史料』訳文編6、246-266頁 | |
| | | 『華夷変態』上11-12頁、『改定史籍集覧』続善隣国宝記55-58頁・同外記17-18頁、外蕃通書84-85頁、『新訂続善隣国宝記』464-470頁 | | |
| | | 『華夷変態』上12-13頁、『改定史籍集覧』外蕃通書86頁 | | |
| | | | | |
| 漢文 | 華夷変態上（和訳） | 『華夷変態』上、25-28頁 | | |
| 漢文 | 華夷変態上（和訳） | 『華夷変態』上、44頁 | | |
| 日本語 | オランダ語控え（NL-HaNA 1.04.21. NFJ282） | | | |
| 漢文 | 和訳なし | 『華夷変態』上45頁、『外蕃通書』87-88頁 | | 万治元年7月10日、長崎より到来（華夷変態） |
| フランス語 | | <i>Le Puissant</i> , pp. 228-230 | | 来日せず。 |
| 英語（ポルトガル語とラテン語の訳文付きで送付） | | 『Experiment and Return日英交渉史料』20-21頁 | | 渡されず |
| 英語 | | 『Experiment and Return日英交渉史料』22-23頁 | | 渡されず |
| 和文（カナ書き） | Bataviase Uitgaande Briefboek, NL-HaNA 1.04.02. VOC899 & NL-HaNA 1.04.21. NFJ306 | 金井『日蘭交渉史の研究』381-383頁。 | Van Dam 454-456 | Maetsuijkerの自署あり。 |
| 漢文 | Bataviase Uitgaande Briefboek, NL-HaNA 1.04.02. VOC909 & NL-HaNA 1.04.21. NFJ473 | 金井『日蘭交渉史の研究』398-399頁。 | Van Dam p. 477 | 文書は年紀を欠くが、『長崎実紀年代録』107-108頁によれば、1683年のものである。 |

出典注

NL-HaNA 1.04.02. VOCオランダ国立中央文書館オランダ東インド会社文書

NL-HaNA 1.04.21. NFJオランダ国立中央文書館日本商館文書

IOR India Office Records, British Library

異国日記（南禅寺金地院所蔵）

外蕃書翰・外蕃通書・華夷変態（国立公文書館内閣文庫）

「長崎御役所留」（長崎歴史文化博物館所蔵）

『続善隣国宝記』『続善隣国宝外記』『外蕃通書』近藤瓶城編『改定史籍集覧 第21冊 新加書 通記類』近藤出版部、1901年

早川純三郎編『通航一覽』4（清文堂出版、1913年）

『長崎市史 通航貿易編 西洋諸国部』（長崎市役所、1935年）

林春勝、林信篤編、浦廉一解説『華夷変態』上（東洋文庫、1958年）

村上直次郎訳註『異国往復書翰集；増訂異国日記抄』（駿南社、1929年、雄松堂、1966年）

Pieter van Dam, *Beschryvinge van de Oostindische Compagnie* (uitgegeven door F.W. Stapel) boek 2 deel II (RGP 76) 's-Gravenhage: M. Nijhoff, 1976.

ろじゃ・めいちゃん編『Experiment and Return日英交渉史料 延宝元年（1673）』（日英文化交渉史研究会、1978年）

中村孝也『徳川家康文書の研究』下1（日本学術振興会、1980年）

金井開『日蘭交渉史の研究』思文閣出版、1986年

以心崇伝、異国日記刊行会編集『異国日記：金地院崇伝外交文書集成：影印本』（東京美術、1989年）

Anthony Farrington, *The English Factory in Japan, 1613-1623*. Vol. 1. The British Library, 1991

田中健夫編『善隣国宝記 新訂続善隣国宝記』（集英社、1995年）

加藤榮一『幕藩制国家の成立と対外関係』（思文閣出版、1998年）

九州文化史研究所史料集3『長崎実紀年代録』（九州文化史研究所史料集刊行会編集・発行、1999年）

Le Puissant Royaume du Japon: La description de Francois Caron (1636) Paris: Chandeigne, 2003.

Isabel Tanaka-van Daalen, "Communicating with the Japanese under Sakoku," in *Large and Broad: The Dutch Impact on Early Modern Asia*. Tokyo: The Tokyo Bunko, 2010.

東京大学史料編纂所編『大日本史料』第12編之6、10、11